

No.170
令和2年8月12日発行
北海道
天塩町議会



種正式質ピックアップ

- ○町営牧場の取水施設を整備
- ○新型コロナウィルス感染症 対策各種事業を実施

6月10日

補

正 子

歳出

| 町営牧場(高台)取水施設整備 | 3,780 万円 |
|------------------|------------|
| 更岸地区農業排水路施設整備償還金 | 2,747 万円 |
| 新型コロナウイルス感染症対策事業 | 2,116 万円 |
| 内訳 | |
| / プレミアム付商品券発行事業 | 1,641 万円 \ |
| 高齢者共通助成券発行事業 | 395 万円 |
| 新スタイル相談・啓発体制構築事業 | 80 万円 / |
| 小中学校タブレット等整備事業 | 1,309 万円 |
| 病院事業特別会計繰出金 | 420 万円 |
| その他経費 | 365 万円 |

歳入

| 町営草地基金からの繰入 | 3,380 万円 |
|-------------------|----------|
| 起債(更岸地区農業排水路整備) | 2,740 万円 |
| 前年度からの繰越金 | 2,649 万円 |
| 新型コロナウイルス感染症対策交付金 | 1,257 万円 |
| 小中学校タブレット等整備補助金 | 596 万円 |
| その他収入 | 115 万円 |

令和2年度 日常生活活動緊急支援券

▲高齢者共通助成券



手洗いをお願いします

▲プレミアム付商品券

いまは、 STAY HOME きょりをとって 切な命を守るために

▲新北海道スタイルの取組例

一般会計

歳

入 歳出

1億737万6千円を に つ (1 て 石山 新 スタ 築事

のようなものか。 発体制構築事業とはど 新スタイル 相 談 · 啓

00万円としました。 追加し総額を49億72

て振興局、町内会などで 議会を、商工会を主とし 構成し事業を行います。 別相談支援を実施する協

道スタイルの啓発及び個 新しい生活様式、北海 費用を補償する改正 し、移転料について引越

ドが廃止 伴う改正

○職員の旅費に関する 条例の改正

マイナンバー通知 ○手数料条例の改正 法律等の改正によ されることに カ

費を支給できるように

職員以外の

出張に

旅

見直しを行う改正 税制 法律等の改正 上の措置や ·控除 に ょ

の

1億737万6千円追 加

1

ル

業とは

例

条

○町税条例の改正



り

り

1

行 政 報 告

感染症対策の取り組み ○新型コロナウィルス

策の関 感染症 染症拡大防止の取り組や町民への情報提供、感 開催する中で、感染症対 型コ 係機関との協議 対策本部を6度 口 ナウイルス

民生活の支援のため国 を受ける地域経済や住 ウイルス感染症の影響 ます。また、新型コロ ナ

を目指したいと考えて 力維持、経済活動の回復 染拡大予防 事業の実施を計画し、感 います。今後も国や北海 や地域の活

道の動 型コロナウイルス感染 の交付金を活用した11 静を見ながら新

いく所存でございます。

報誌、 ①募集は

ホームページによ

町内回覧や広

対策に最大限努めて

○農業委員の任命 そ

な委員11名の任命に同意 任期満了に伴い新た

農業委員の 選出方法 は

)請願の採択

計画的な農道新設と

意見書

国奥

みを最大限

行っており

②委員選出の基準は。 ①応募は何名か。

して全体的、 などからの推薦も考慮 を持っている方や団体 補者を基本として意欲 準ずる者、60歳未満の候 性、認定農業者やそれに の基準は天塩町在住、 方が1名以上です。評価 業者が6名以上、中立 ①②募集基準は 案し決定しています。 、総合的に勘 認定 女 0

天塩町農業委員会委員

| 氏名 | 備考 |
|--------|------------|
| 佐藤 博幸 | 再・推薦・認定農業者 |
| 湯澤 敏孝 | 再・推薦・認定農業者 |
| 宍戸 栄一 | 再・推薦・認定農業者 |
| 伊藤 淳一 | 再・推薦・認定農業者 |
| 奥山 稔 | 再・推薦・認定農業者 |
| 安川 和範 | 再・推薦・認定農業者 |
| 山下 雅博 | 再・推薦・認定農業者 |
| 満保豊 | 再・応募・認定農業者 |
| 高橋 一博 | 再・応募・認定農業者 |
| 丸山 淳子 | 新・応募 |
| 寺本 奈穂子 | 新・応募 |

| 八畑町送于日柱女只五女只 | | |
|--------------|----|--|
| 氏名 | 備考 | |
| 竹谷 志郎 | 再任 | |
| 岸山 久美子 | 再任 | |
| 土田 孝司 | 再任 | |
| 三浦 隆 | 再任 | |

| 大温则選争官理妥貝云妥貝佣允貝 | | |
|-----------------|---------|--|
| 氏名 | 備考 | |
| 鎌田 英樹 | 再任・第1順位 | |
| 菅井 愛子 | 再任・第2順位 | |
| 湯澤 昌弘 | 新任・第3順位 | |
| 竹元 祥 | 新任・第4順位 | |

の 他

応募人数は13名でした。 り周知しました。

選挙管理委員補充員の ○選挙管理委員および 請願名

請願者 北更岸農事 組 合 他

推薦により選挙を行

任

期満了に伴い指名

0)

11農事組合

紹介議員 渡辺 修勝

を産業厚生常任委員会 道 の舗 装化 へ の 請

択し町へ回答を求めた。 の付託審査 を経 て採

舗装化に関する要望 農道の新設及び町 道 械に合った農道整備を」 調査レポート 生常任委員会)「大型機

○林業・木材産業の 成 書案を採択、提出した。

の充実・ 長産業化に向けた施 強化を求め 策 願 回 [答期限

関連記事 令和2年8月31 日

9ページ上段 委員 会

の継続、 定確保、 組みや森林づくりを担 び 置 う人材育成への支援措 用までの一 対 する起債の特例措置 治 の今日を求める意見 Щ 事業の財源 森林環境事業及 森林整備 森林整備事業に 体的な取り いら利 0 安

(産業厚

般 質 問

石 Щ 直 継 議 員

公務員の副業は

町長 現在 の法律の中ではできない



副 業の解禁は

幹産業で顕著であるな 自治体に奉仕する立場 る。従来の地方公務員は 業が取り上げられてい 町 、報道等で公務員の副 村の人手不足は

消や町の活性化に繋が 献活動は人手不足の解 ると考えるが町長の考 で解禁している。 から強い制約があった 公務員による社会音 現在は副業を条件付

えは。

②基幹産業は大変な時

務の 確保の点から設けら せられています。 て おり厳し 信用、職務専念義務 兼業の許 公正な執行や公務 い制 可 制 約が 度は 課

勤 がる社会貢献活動へ積 地 時 す。基幹産業については 極的に参加 を公務以外で推 づくりを検討したいで 能か考えていきた '間の中で活動体験が 務時間外の限られた 域課題の解決につな (きもあり、天塩町でも 方で社会貢献 できる環境 進する 活 動

基 幹産業

への 参加

を

うなものを考えている ながる社会貢献活動 環境づくりはどのよ 地 域課題の解決に

を与え地元の基幹産業 その中で若い人たちを 期に来ていると考えて なげていただきたい のスキルアップにもつ に参加してもらい、 は土日祭日に特別な職 減らさないため、職員に り減少させないでいく おり、どのようにして守 かが首長の仕事である。 元気付けて基幹産業を 一長の考えは。 職員

PO法人による身障 ①②社会貢献 しては想定されてい れており、一 支援活動やスポ 指導員などに限 般企業に対 活 動 定 1 は 者 ッ N

> いません。 るような対応は考えて ので率先して法律を破 り せん。公務員は法律 の中で生きています :の縛

マッチング、基幹産業へ での人材支援や人材 トータルの支援は考 町としてできる範囲

接解決することは現 が、職員が自ら入って直 えなければい けませ 在 W

の法律の中でできな と想定されていますの 総合的な政策の中で

団や猟友会がありま 有害鳥獣対策につい が、それらは消防活動 兼業の例として消 できる範囲 0 す て P 防

です。 何らかの対応をしたい います。 中で兼業の許可をし 十分貢献



▲消防団活動には8名の職員が参加

山 本 春 光 議 員

魅

町長 前 向 きに 議 論 L た

況を把

握し、

な

生徒

学生、

高

校

生

に

域

て整備、

します。

補助制

度等 へ の

を 対



行

事業の説

明

は

1月

末に国

光ファイ

バ

1

教育環境の整備は

1

国

全体とし

7

C

活用を推し

進め

7 1

おり

備を進めています。

手をあげられ

る 助

か 事

国

の補

どうか。 うのがあり、こ 通信環境整備事業とい や作返地区には子供 ②雄信内や更岸、 必要であると考えるが 通 よう早急に一人一台の い 通 ちが住んでいるが高速 の に整備すべきでは ない。 信環境が整備され 信端末整備の 教育格差が 総務省 起きな の高 の機 対策が 振 な 地 会 速 て た 老 ے ع

な

11

· と 判 から

断

11

ただい

が 整

備される。

今回

の

かと考

えるが町

長

の

コロナウイルス感染症

えは。

校内通信ネットワー

算で小学校と中学校の 天塩町でも3月補正予

がり

を

維

持

オン

4

行っています。

近

11

将来

れ 間

ない

の

と危

機感

を

П

が

る事

ずは避けら

つて

り、 二

間

П

ため

の お ŧ 減

支援をどこま

▲通信ネットワークを整備(啓徳小)

対する映 置し大学進

、像配信:

などを

1

・ン学習

ŧ でき、

さらに

備により休校中も あったが一〇T環境整 拡大による臨時休校が

つつな

は

宅にいても孤

立

感

と心の安定に役

つと考える。

小学生

学校で町 をすべ 補 図 1 ただい 囚るため 正予算 _ 人 て て 本定例 独自 を提 台 の お 児 端 ŋ の 案 童 末 · 啓徳· 会に 事 さ 生 0 せ 徒 整 小 7 て 備

> 境は各党 自 を進 信 宅 ネ め 家 に ツ ます。児童 庭 1 お に け ワ お る 1 け 通 ク 0 信 生 徒 整 天

塩

高

る

0

か

北

海

町

た高: 内に限

校 のあ らず町

関

含

1 り

必 に t

通

、通信環境 と議 を受 活 応 の を国 論 導 境 る 用 け 状 環 を 入 の う生 る。 が じ 確 天塩高校の方向 なくされ、ニ 保に ているが少子化 近 天塩 徒数の減少を余儀 年 し 1様々 天 さ 町 討 校 塩高校は を とし な対 増し 間 策 に伴

を要望しましたが、でき ました。敷設する業者さ 準 業 た 置 て高校の対策を考え 検討委員会を立ち上げ 識 会 ②今からPTAや同 るが町長の考えは。 きではないかと考 経験者などを含め 体育文化協 会

う考えるのか。 性をど て今後 イや学 てい I維持 窓 性が 科が てい に 学や V 勉

んに民設民営での設

委対員策 会 を講 生 を もと近 道 之教育 れ ば け 6 11 れ

ます。 きて 1 マに 委員 ると認識 け (会と協 な 判 断 11 時期 して をし 議 な 4 0 も含 性を感じており、 する議論につ 8

ていきたいです。

めて前向

きに

! 考え

可 て 方 外

能

性 要

2 校である方は北部 題として非常に危惧 あり、 ます。天塩高校が く場合に必要 間 強できな 特 П 別 、教育の に な専 なっ 7門学: た場 1 質 の可な学問能教校 可 4 母 町 合

大きく広がって

天塩高校への支援

支給、 り

公

設

民 学希

営 奨 対

塾 励

を設

望

者

に

天塩高

校に

す

る 金

組み

は

入学

- 入学奨励金の支給
- 公共交通費用の補助
- 問寒別,雄信内,中川を結ぶ通学バスの運行
- 部活動遠征のバス運行一部補助
- 模擬試験の受験費用補助
- 各種検定の受検費用補助
- ・進学合宿の費用補助
- 公設民営塾の設置(映像配信授業



▲公設民営塾で映像配信授業を実施



▲問寒別などへ通学バスを運行



町長

独

女

|援策の実施

を

1

今

回

の

続

化

支

援

給

<u>ത</u>

独自支援策を

玉

奥

強

議

員

を把 握 な が 6

対

応

するための具体的 町)準備内容を伺う。 の 内

民 安心· 安全を 確 容 保

新 2 援 支 付 策の実施予定は。 援 国 金 の や の 生活 町 専 対 門 民 象 持 様式 家会議 外業者 ^ の 独 の では 自支 基 ^

1 初、 持 続 北 化 海 支 道 援 0 給 休 業 付 金

本

て 用を求めている。町とし 則 民 きではないか。 としてマスクの へもマスクを配 着

マスク備蓄とともに

どう に限定し 6 館 題 を加 があ の す 経 えて る理 ベ 済 L まし き の 60 美 か 回 た。こ 容店 商 復 件 の 業 時 れ 業 の 期 や

者 に か 旅 売され 2 み 11 いきたい ながら 7 ス クは て です。 次を見 11 る 町 の 0 で、 中 定 反 町 に め 応 販 を

り の 協

要請 は て

を把 きたい 握 し な です が 6 対

応 実 6

そこに消 力 金 لح 毒 体制 L て 始 0 間 ま で 対応 は は 配 ブ して 布 レ しません。 3 お ア ŋ 4 商

の支地 感 域 染 新 経 症 型 済 0 コ や 影 D 住 響 ナ ウ 民 を 国 生 受 イ 活 け ル

を

安心安全の確保は

ろで 展業 \mathcal{O} 11 止 11 き を早 活 臨 援 を 開 事 た 力 あ 業 時 す 図 L 交付 るた 維 期 り、 を 1 り 感 と考 持 か 計 な 染 ے を つ 画 金 め、 が 拡 れ 効 目 え し を 5 大 5 て 果 た 活 指 の とこ の 地 的 か し 用 11 域 防 事 L 6 7 に

を超え、

死亡され

た方も 0 をふるっており、

内

の 威

者は延べ

1

染症

は世

界 [ナウ

中

で 道

猛

 \Box

1

ル

多数出ている。本町

では

(在感染者は確認

され

てい

が第3波、

第

の

発生も ない

懸念され

気

す

げ

ない

状況

が

続

質 つい

問

詳

細

な

答

弁

て

は下 の

の

表

の

てい

をどう対応すれ

ば

町

で民は町 われ

の

仕

事

商売、 状況や

健

康 牛

安心安全確保のための具体的内容と準備内容は

- Q1 感染症対策本部の活動状況と今後進める活動について A 6 回開催、3 つの取組と新しい生活様式を実践
- Q2 相談窓口設置と正しい情報の周知について
 - A 留萌保健所が医療相談窓口を設置、町は広報臨時 号などを配布
- Q3 防災無線を使わない理由は
 - A 聞こえた、聞こえないで余分な心配をかけるため
- 公共施設の利用及び指定管理者に対する指示・指導 について
 - A 国や道の感染防止マニュアルをもとに指示・指導
- Q5 乳幼児等各種検診や予防接種の状況について A 個別対応または延期
- Q6 妊産婦への対応について A 通常どおり対応
- Q7 学童保育の運営状況と通所児童数の変化は A 登録人数48名のうち平均15人が利用
- Q8 休校期間中の空き教室の活用は A 分散登校が始まったためできない
- Q9町内会や町内各団体との協議、協力内容について
 - A 施設利用自粛等の協力をお願いしている。 また、新北海道スタイル実践のため、町内団体で 「実践協議会」の設置を考えている。

人との距離を確保 飛沫感染を防止するため、できるだけ 2 流 (最低 1 流) 空けましょう

マスクの着用 外出時や会話をするときは、症 状がなくてもマスクを着用しま しょう



▲新北海道スタイルの実践例

て

品

か

草 刘 幸 男 議 員

町長 民間 の知恵を貸してほ



ふるさと納税 返礼品の考えは

を1億円に設定 ②令和2年度は

しま 目

標

額

た。令和元年6月1日

るのか。 応していこうとしてい 品をどのように考え、対 ③納税者が求める返礼 ②今後の目標と制度に 対する取り組み方は。 3年間の実績は。 降の指定制度に伴う返

元年度は過

な減

①ふるさと納税の 過

④返礼品の内容を地元 に対する支援策と今後 う気はないのか。それら の特産品開発でまかな ら、地域資源の掘り起こ る方へ各種ポー ③故郷を離れても応 制度の基準を守りなが 額になりました。今後は により令和 イトを通じて天塩 していただける方や取 たいと考えています。 せる取り組みを推進し 去2年に比べ大幅 礼品の全面的な見直 しや商品開発を促進さ 組みに賛同

和元年度は8388万 は4億2354万円、令 462万円、平成30年度 ①平成29年度は3億 9 事業者 扱っています。寄附金全 金額までまかなうこと 体では2割程度で目 の ŧ

整備も視野に入れた中 援策の周知と加工施設 で地場産返礼品の は非常に難しいため、支 を図りたいです。 拡

のを 取 標 ŋ ②返礼品の考え方が 来と変わっていない。納

振興につながると考え で納税額アップや畜産 る施設を町が持つこと をかけ、肉を冷凍加工す 返礼品に使いたいと声 和牛を取り扱っている 税者が求める商品は力 生産者がいることから 一や肉である。天塩町で

③補助金の見直しが必 要だと考えるが町長の るがどうか。 考えは。

ふるさと納税寄附金 3億9,462万7,487円 H29 H30 4億2,354万2,409円 8,388万5,119円 **R**1

ようになったことで納 にカニを地元の業者が たことが原因です。年末 てカニを扱えなくなっ が、総務省の指導によっ ①ないとは 入れ、加工して出せる いえませ

()

、ただけ タル

サ

納 税者が求める 返礼品を

④補助金制度があ

の返礼品におい

て り

6 現 取り組みと魅力をお

礼

のせていきます。

ではないか。 が2名から1名になっ た影響が多少 大幅な減額は担当者 かったの

▲町内で飼育されている和牛

可能 可 ています。既存の業者も 町が直接タッチできる えていますが、商品化 り組んでいきたいと考 品にできないかぜひ取 ②天塩で育っ ました。 税額が8千万円になり '含めて難しいと考え 性は保健所の許 た牛を商 認 利用しやすい改正 り34件の利用 度は昭和5年から始ま ③特産品開発の補助 含めて相談させてもら いて考えたいです。 んと相談しながらより 恵を貸してほしいです。 う中で民間の方々の た。今後は議員の皆さ がありま 制 知 つ

横 山 敦 議 員

施 設構想の考えは

町長 ほ ぼ 新 築 **の** 方 向 に



福祉 移転後の 会館 活用 は

③福祉会館 の活用は。

の代

替

降

の

事

構想は新築の

み

の

なのか。

委員会を役場庁舎に移 会で8月1日 5月25日の 「より 全員協 教

る必 回答であった。 !から移転準備は着々 全員協議会での 移 要 転は協 が あると意見 議 中と 説 の

書室管理

部

では、 の方向性を慎重に考え た。2月の委員 転する方向性が示され 移転や利 会調 用 方法 杳

と進 意見が活かされてない 議 会 められたようだが の 説 明 や 指

ます。

しなどを含めて検

討

始めています。

が

ある。

施設

の

全体

0)

管

理

体制

図書室の管理 管理 から はでき 兼福 次 祉 の

き時 管 理

考え I施設 務室 ② 今 後 です。 慮しながら トと管理 とのバランスなどを 理 0 す 維 判 ベ 持 断 L た 間 コ 考 帯 ス 1

予定です。次年度以降は を担ってもらう 人に会館管理 の見直 図 果 携 は 0) かりや 意見を まし を検討、 る課 3 部を開催し整備 過から地方創生 構想を立案していくと 創 ご意見 しました。これ 年の執行 生 た。 総 題 月の全員協 何うに を承 すく新築とし することに 合 資 提 - 戦 料 案 方針 り、 略 事 は あ らの 項 たり 町 で施 を 4 に 推 議 なり など おけ 策 民 進 月 会 本 経 設 定 で

委託

が期待できます。

強化と経

削

減

の

町

部局

との 委員

の

連 効

教

育

会 層

の

移

転

契約内容を変更せず ①今年度は警備

今後の進め方

代替施設構

想

減

校を統

合

は

▲教育委員会が役場庁舎に移転 効率の良い 転時期を再考すべきと 康を最優先に考え、移 転 時期に狭いところへ移 のではと思う。なぜ 事務室の活用が決ま ロナが収束していな てからでも遅くは するのか。職員の健 教育委員会の移 管理 体 制 な 転 は

の

回

答な

ば新築で進めるべきと を気にしないのであ ②代替施設構想は財 思うがどうか。 n 源

がどうか。

要望 開 8億から10億程度を想 れくらい必要か情報を れる。まずは財源がど 築で合意したと判断 が、これでは議 図面を配布して意見や 定した新築のたたき台 考える。現 分反映させ、新 示し、 一を聴 町民 取している 在、 の 意見を 会が新 事 業費 さ

> 震化を優先すべきとの 施設化や役場庁舎の う天塩中学校や夕映 見も った既存施設の複 な負担に を目指 あった。議 ならない し将 来の 会 耐 合 いう舵 早急な新 す。小中学 つもりはありません。福 をこの10 余った校舎を使うこと 会館 の 年以 現 築しかな

状を見

れ 11

ع

な協議が必要と考える 形成、議会との積極 に反映し町民との合意 員の意見や考えも十分 できていない。役場 上手くキャッチボー 説明や指摘、意見 どが少な 職 的 < ボー の中から求めて 7 とが私の役目だと思 を持たなければならな ならないか、どんな機 まとめながらキャッ いかという議 施設をどうしなけれ んじて受けますが、複合 ルが足りないことは 議会とのキャッチボ 1 、ます。 ルの場を作り を切 職員の りつつあ 論 を職 11 た 案 くこ チ を ば 員 ŋ つ

です。

現存かどちらが望ま か判断していく必 集約や 築か 会や町 ②代替施設は、ほぼ 議論を始めたところで ろうというたたき台 になるという議 教育委員会が来て三密 前進させてもらいます。 ただき、私どもの判断 は行政の責任であり、議 ①教育委員会がどこに いなければならないか の違 行 か いです。 ざるを得ない 民にはご理解 論



▲代替施設の検討が進んでいる

内に

具式調査心切一ト

5月26日

大型機械に合った農道整備を



(請願) 農家戸数は減少していますが農地面積はそ のままのため、農家一戸あたりの農地面積が増え、作 業機も大型化されていますが農道が伴っていませ ん。現状の農業の体制に伴った整備をお願いしたい です。

旨は理解できる。しかし法令上「号線」や財政上 実現が厳しいと考える。

今後関係団体や町、国などと協議を重ね、一体 的、総合的に整備計画を樹立し対応すべきと考 え趣旨採択と判断した。

新地通2丁目通線 町道の整備を



(要望) 町道が砂利道であることにより、車両の通行 による砂ぼこりの舞い上がりが原因で窓が開けられ ない、洗濯物を屋外に干せないなどの支障がありま す。これらの支障解消のため町道整備をお願いした いです。

|委| 本要望については一般住宅新築に伴い住民 生活に安全上の問題や公衆衛生上の観点からも 砂利道の舗装化が望ましいと考える。

加えて、国道に併設される町道としての景観 や利便性向上のため道の駅方面に通り抜けでき るよう整備されることが望ましい。



▲役場1階ロビーで窓口を設置

48 円 3 円児事一 としました 億 の 童 業 人歳 億 1 2 や 10 入 給 1 増 子育て世界 万円八歳山 人あ 4 7 7 6 額 事 出 業の の し た に 万7千円 定 総 り 万 帯 追 額 つ 額 7 1 給 加 11 を千 で 万の 付 7

展入歳出について 外出自粛要請の影響を 支援金給付事業などの 追加で5185万7千 としました。 円 を 増 額 46億6462万4千円を 増 額 し 総 額 も 円を

補 正 予

補

正

予

筫

5月11日

5月29日

表紙の写真



「おまつりごっこ」認定こども園おひさま

7月22日に認定こども園おひさまで、おまつり ごっこが開かれ、お菓子屋さんやポップコーン屋さ ん、スーパーボール釣りなどたくさんのお店が並び ました。

お姉さんが年下の子とペアになり手を引きなが らお店を回り、一緒にポップコーンを食べている様 子が可愛かったです。

今年はコロナウイルス感染症対策のため町内の お祭りが、のきなみ中止になりさみしい思いをして いたこども達も笑顔あふれる一日になりました。

NEW!! 町民相談コーナー

議会への相談コーナーを議長室に開設します。 相談は議会事務局までお気軽に問い合わせくだ さい。

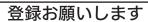


定例会は9月16日~18日の予定です。

一般質問は 16 日に行う予定です。 質問者・内容はホームページに掲載します。

LINE 公式アカウント

議会の公式アカウントを開設し ております。





議会広報特別委員会

委員長 横山 副委員長 後藤 委 山本 春光 員 委 員 国奥



今回は女性ドライバーの会のみなさん No. 14



症防 週 す 頭 じみに 者宅 指 C_{ij} 末が、 間 し 活 交 て、 か 止導 お 動 通 毎 の観点 よび 汁 合年 は け 安 春 問 とお 交 て わ 全と 夏秋 8 通 など せ 月 に 安 ま か は ラ 事 5 19 コ年 の を ぎ 全 す。 イ 故 日中口 交 り 生 防 ダ 周 止し感 通 ま を ^ 発

辺

ま

旧

通

や

仲

通

商

街

買くの

ĺ

の

を供にの

せる方 運物 感じ お 道 行 る 店 高路 を で ま が駅 して欲り す。 少前 法 齢 の きるよう循 なく を考えて 真 者に対し、 車 6 の 中 し な いです。 -を 自 な り、 欲 環 11 や バ 方 寂 店 転 がし ス め 車

さ

色

で

で

止 提

を 傍 で う た 使 議聴 傍 印議 い写 会だよ した 方 象 聴 回 がの に は 真より文章を多く 11 はあ 傍 と思 会 り聴 の行 と思 は は、 ま き メ 11 面 す に 明 ま ン が、白い 11 ま バ す < る 1 いーと 11

願ボ断 タが高 ン 危校 式険正 信 ٢ 号機 感 付 じ 近 の る で の 設 生 置 で 徒 押 を の お 横

で

の安運

染街全動

11

た

いです。

会だより 象は? の を危歩 直険道8 を感じて 環丁 境 てもら 目 が通 線や 悪 11 いるので歩 た 生 高 活 で 齢 道 者路 道がの

皆さんありがとうございました

『議会のうごき』をホームページに掲載しています

天塩町議会

での人い

検索

この議会だよりは、わかりやすく、読みやすい [UTD] FONT を使用しています。



女性ドライバ 内容は? の会 の

まちづくりに ることは?